

新潟県

公民館月報



昭和51年7月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市一番通町・県教育庁社会教育課内】
【地番・(新潟) 樹 6111 内線 326】【振替新潟
4094】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年価 840円】

ヒルガオ

去年の場所に
ヒルガオは咲いていた

海鳴りを聞き

波しぶきをかぶり

射すような吹雪にさらされて

細い根が耐えた一年

つゆがくすつこうと

強い日射しが照りつけようと

海鳥がフンを落そうと

ひとが踏みつけようと

ひとが見ようと見まいと

きのうもきようも

ヒルガオは咲いていた

(本)

(写真・岩船郡山北町にて)

県公民館大会コーナー

開催地レポート

①

まだ随分遠い先のことだと思っていた第二十七回県公民館大会は今日(七月十三日)から教えて大会が開かれる九月二十四日まで、あと七十日余りとなった。

さる六月十一日の事務局打合会で、分科会

や役職員の細目案もきまり、あとは中越公連と県公連役員会で承認を仰げばよい。

以下、今日にいたるまでの経過をふりかえりながら、開催地々元としての第二十七回大会へこめた願いなどを卒直に記し、県内各地から大会に参加くださる皆さんの参考に供したいと思う。

三公民館で分科会

コミュニティーづくり柏崎を公開

先人の力ぞえ

「これまでのあゆみ」から「第二十七回県公民館大会は柏崎で」という声が出たのは、昨年

五月二十三日、長岡市で開かれた中越連理学会で、提案者は三島・与校の今はじき天久保前館長であった。

全体会場となる柏崎市民会館

が市政の重石施策のひとつに取り上げられ、昭和六十一年を目標年次に地区公民館とミニミニ施設の長期整備計画が進められており、現差のわれわれは多くの切実な課題をかかえていた。

このような切実な地元の課題をふまえて、私が強く心かたのは昭和四十二年四月に行われた「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」の社会教育審議会の答申の中の「公民館の新しい役割」とその拡充整備の一の項に示された文であった。

公民館については、従来「ややもすればその性格と活動が明確に理解されていない」と

効率よい集合に

一月二十六日行われた柏崎全市十九館(併列型)の館長職員会議で示した県大会要項案を製し近づけるの留意点は次のようなものであった。



六月十一日・柏崎市中公民館で開催された関係スタッフによる県大会準備打合わせ

昨秋十月三十・三十一日、赤倉とせねはならぬということであらう。温泉で行われた県内公民館長研修会、講師としておいでの方会連種正副会長から、大会要項作成に当たっての留意点について助言をいただいたが、全国大会の経験豊かな先生から直接助言いただいたことはきわめて貴重であった。

全国大会へのステツプ

さいわい五十一年度全国大会は第二十五回記念大会にあたり、従来のみかき方式の上台として行われた県大会の主題も、全国大会に拘束されない、さるに五十二年度には全国大会が新潟県ではじめて開かれるということであり、石井会長もこの全国大会を県公民館の飛躍的振興の契機として、年が明けて正月、大会要項私案との考えときき、地元案を積極的を著し新嘗の酒を酌みながら私は提案してゆこうと考えた。

柏崎方式を見せる

柏崎では昭和四十九年以來、特「地元柏崎の公民館振興の機会」年進教育「ミニミニプラン」

(1)大会の性格 本県ではじめて開かれる全国公民館大会をふまえての県大会であることから従来の大会の性格よりも研究策会的性格を重視したい。

(2)大会の構成 従来の分科会と記念講演は行わず、式典、問題提起および全体会の三つの柱により大会を構成する。

(3)大会の日程 従来の一日二日の日程は一日間とした。

(4)大会の経費 従来の負担金、資料代、広告料等はできる限り徴収しないようにしたい。

(5)その他 参加者の交流・交歓をはかり、一体感を高めるために会食、ソング交歓等を考えたい。

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営規程基準・通達「公民館基準の取り扱いについて」

A5版、34ページ
一部二五〇円送料別
公民館関係の諸会議にご使用ください。

申込先・県公連事務局



(実物大)

公民館のバッジ
全国公民館関係者の共通のシンボルマークとしてデザインされた「公民館バッジ」を頒布し手。

赤銅製、直径一・二cm、円形。中央シンボルマークと縁どりは純金ほり。止め金はタイ・タック式(ネクタイベルトにもなる様式)。

一個 六〇〇円(送料共)

申込先 県公連事務局

これらにもつて大会主題はばぶ詳解いただき、さらに二月二日「新しいコミュニティの形成と入十六日の県公民館連手でも詳解開注の伸長と県公民館の姿をいたしたい。

四月以降、市公連、中越公連、この案については、その後市県公連の会議で、地元提案が正式運営審議会でも協議していただくに承認されたが、参加者負担金にたいが、この大会成功の鍵はまず地元の公連連成にあると考へたからであった。

要項づくりに苦心

二月二十五日、加茂市中央公民館で行われた中越公連の理事会には、折柄講師としておいでの方丹会長と本田局長も列席され、地元から提案した要項草案についてはかされねばならぬとも思ふ。

今から事前討議を

私たち柏崎全市の公民館長は、報の紙上をおして、大会への取り組み職員一同は、大会と同じ三つ運を高めたいと思ふ。次号の分科会に分かれて、問題提供者では各分科会での問題提起者からを中心に、大会百回に向けてのレポートも掲載していきたいと究協議を続けている。

大会百、各分科会百回の生々しい実践をもつて、具体的な地区などで、県大会にむかって事真な問題提起をするため、参加事前討議を今からせよはじめていた者の方がたへの何よりのプレゼントにしたいと考へている。

そして、この大会を明年度の全国大会へのスタートとし、ぜひ成功させたいと願っている。

僅か一日間の大会だけ時間の誓いをたいと思ふ。

制約はあるが、しかし、大会の成否は一同が会した時間の長さだけではないと考へる。

全国にも誇る伝統ある県公民館月報

大会要項の概要

- (1)趣旨 明年度、本県ではじめて開催される全国公民館大会をふまえ、新しいコミュニティの形成と人居住の伸長に果たすこれからの公民館の役割を追求するため、第二十七回新潟県公民館大会を開催する。
- (2)期日 昭和五十一年九月二十四日(金)
- (3)会場 柏崎市
 - 全体会場 柏崎市民会館
 - 分科会場 柏崎市民会館、柏崎市中央公民館、柏崎市西中公民館、柏崎市中鏡石公民館
- (4)日程
 - 受付 9:30時
 - 開会式 10:15時
 - 移動・施設見学 11:12時
 - 会食・交流交歓 12:13時
 - 問題提起・分科会 13:15時
 - 移動 15:15時30分
 - レクリエーション 15時30分~15時45分
 - 閉会式 15時45分~16時
- (5)大会主題 公民館のコミュニティづくりに果たす役割
- (6)分科会と研究主題
 - 都市分科会 都市におけるコミュニティづくりに果たす公民館の役割
 - 都市近郊分科会 都市近郊におけるコミュニティづくりに果たす公民館の役割
 - 農山漁村分科会 農山漁村におけるコミュニティづくりに果たす公民館の役割
 - その他
 - ・中食は分科会ごとに会食とし参加者の交歓交流をはかる。
 - ・申し込みは市町村ごとにまとめて責任者を明確にし、負担金、会食費(一人千円)を添えて申し込む。



最近久し振りにアメリカへ旅する機会に恵れ三月月程過ぎました。私はこの国へ行って



灯台

外あまりホテルというものの世話にならずに旅をする。ここでは泊るかどうかと偶然の出会

アメリカの心

伊藤 文吉

買つたりする商人でもなく、出来事を書きたる報道人でもなく、思想の東西入種の東西を問わず誰れとも自由に関わり、誰れでも何んの不安もなく語りかけていきくれる恵まれた立場であった。

ある時、百数十年前のゴール素樸しいことである」と彼

無難給働いているのである。彼は不忠誠が私の明確に説明してくれた。

この国では「多くの人たちに選ばれ公に奉仕する仕事を与えられることは大変な事だ」といかなる金額を得ることより

この博物館は夜ともなると数百年のローソクの炎で幻想的な雰囲気を感じ出す。それは素晴らしいレストランに身を置く。彼は夜ここでは無給の支配人になるのである。この先上げが全部博物館の運営費になるんだぞ。夜十時を過ぎく知った頃彼も私も随分酔った。彼は席を立ち同好の志を振り出した各テーブルの中へと消えて行った。

(北方文化博物館長)

新潟県社会教育講師紹介資料

講師のプロフィール

内容・B5版・32頁

●項目一頁写真・氏名

●現職住所電話・生年月日最終学歴・社会教育関係の経歴・現在の活動(著書等を含む) 専門領域

●実費一冊三〇〇円

送料共

◎申込先―新潟市一番堀通第二分館新潟県社会教育協会

全国大会への強いステップ
県公民館大会(柏崎)を盛り上げよう

記 講 受 修 研

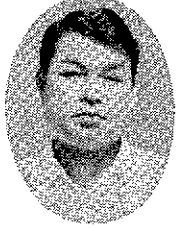
五月三十一日から開催された〓県公民館職員講習会〓にことしも県内各地から三十六名(うち女子八名)が参加した。会場の越前浜の砂丘に立つ県立青少年研修センターからは、緑一色の蒲原平野と、青い日本海も望まれ、密度の濃い学習と友情を深めえた六日間は、それぞれ忘れ得ないものになったようだ。これからの県内公民館のホープたちの受講感想記を紹介する。(編集手)

旨い〓雑炊〓

つくり

神田 繁

かぼちゃがとれる頃になると〓どうすい鍋〓を思いつく。小学生の頃は食料難の時毎日どうすいを食べていたから。いつも鍋の中に〓ほうりつ〓



〓どうすい〓料理の中でも高級品とされている。野菜をどうすい、ナメコをどうすい、さつまいもをどうすい、村の中のおもむきで〓どうすい〓等があり、それらの中に〓どうすい〓、サトイモ、セリ、ナメコ、と

深めた学習と友情

〓〓〓十五回生三十六名が巣立つ

一歩一歩確実に

小山 茂

地区公民館員、それぞれ自分の仕事はこれで良いのかという不安と自己意識に陥り初めていた矢先の研修会でした。事業計画の立て方、社会教育調査、社会教育の現状等の内容は私にとっても貴重な経験。

ましたが、今回の研修会ですとでも参考になり自信がわいてきました。そんな今回だったことを思い出すと、入会、味の濃い、香り高い〓どうすい〓をつくり村民から味わってほしい。そのすぐれた料理人自身がほなりたい。ふと〓研修会〓ですそんなことを感じました。(横越公民館主事)



私に今、大事なことばこれらの基本的なことをしっかりと身につけよう努力によって市民に投げかけ、それが二倍ある(は)分の二にならなければならぬ。その研修会には重要性を帯びてくるように思われた。そして県内各地から集った職員との情報交換は、その地域の独自性、方法を別にしても参考になりました。有意義なものであった。なぜなら



最後のこのすばらしい研修会に参加した皆様、毎夜、自己の悩みや地区の情報など二生懸命討議を重ねた二〇五号室の皆様、大変お世話になりました。また今日一日を楽しく過ごしております。(柏崎市中央公民館)

理論と実践の展開

本間 清

朝六時起床、夜十時半に就寝という規則正しい毎日の生活の中で、公民館員としての最低限度の社会教育理論を学習してきました。確かに限られた時間の中で、広い範囲に渡る社会教育というものを



「二週間の研修の感想をどのようにつかんで帰るか」とドキドキして、参加の第一歩を踏み入れました。日程に従って講義、演習、討論と進んで行く中で、何か面白い本物を得たような気がしました。講義や演習では、職員にとって大切な実務の知識をおおむねびびびが、笑ってみたり、真剣になってみたりの日々でした。また、あま

暗闇から淡い灯

小柳 清一

公民館職員としての仕事を考えられたとき、公民館の使命を一言で表現できず、ようやく学校、講座、館報発行をこなして二カ月でした。そんな折に研修会のご案内、何かを求めて進んで参加しました。



社会教育行政と社会教育という根本的議論から社会教育理論の演習まで、実践しなければならぬ使命の重要性を学び、そして私に与えられた責務の重大さを改めて痛感しています。(中之口公民館)

欠くことのできないもの
矢沢 伸夫

研修会は、考えたこともない問題にも触れることができ、「なるほど」と思うこともたびたびありました。しかしそれ以上に私を引きつけたものは、「レクリエーション」です。センター日程による朝・夕のつどいや、講義の中にあつたレクに参加していく中で、これは人との触れ合いのなかで欠くことのできないものであると痛感いたしました。とにかく同じ仕事をしている県内の職員と交流でき、今後とも互いに励ましてあえる仲間を得られたことは、皆さんの上もなく満ち足りていると思えます。(柏崎市公民館)

また、幼稚園児の私には充実した学習内容でした。しかし、定められた期間でギッシリと詰められたスケジュールは、広く、浅くの感もいたしました。情緒的な先生方の講義と県内各地の同志との交流で、暗闇の中か淡い火が見えたような気がします。公民館は社会教育の拠点であり、地域住民の生涯にわたる、あらゆる生活の場々を学ぶ計画を立て、実践しなければならぬ使命の重要性を学び、そして私に与えられた責務の重大さを改めて痛感しています。(中之口公民館)

職員研修参加の記

不得手な

レクも克服

波辺 金作

研修から数週間がたち、密度の濃い講義や演習も観がかり、あわててノート整理をやっている感じです。



波辺 金作

講義、演習で学び

得た点の多くあった

ことばもちろんのことですが、それは別に一週間の合宿研修は県内市町村の方々と、公民館職員としての生き方など人間性の面まで触れる交流

をもてたことが大きな収穫でした。レクリエーション活動を最も不得手とする私は、朝夕の集いには悩まされました。それでも研修が終える頃にはレクの雰囲気は溶け

性をもてたことなど大変有意義でした。これも合宿研修であればのことと考えます。

(守門村公民館)

チームワークも

ピツタリ

清治 隆

オリエンテーションのとき渡された部厚い食券、この券がなくなると帰れないかと思う。

学習は、午前・午後・夜で一日七時間、講師がハッスルする時問オーバーもたびたび。質疑の時

間も設定された活発な応酬があり熱の入った学習でした。社会教育の歴史や流れ、戦後の青年公民館から現在の近代施設公民館へ。内容

も婦人、青少年教育から生涯教育と進んでいく過程や担当者の苦労が理解できました。公民館事業計画は常に調査や反省、評価の繰り返しの必要なくとも勉強できました。

一週間の外出禁止、じゃあやれる範囲で他団体との交流、自主交換会もある。三十六名のチームワークもピツタリ、閉講式には再会を約束して別れました。最後にお世話になった原長会教育課・センターの職員及び三十六人の仲間

村も同じようでした。

都市・農村と、いろんな地域の人がたが。でも仕事の悩みは同じでした。

同じ年代でしようが、やはり青年の話題が中心でありました。楽しいこと、悩み、不安と都市農村生かしたいものです。

(牧村公民館主事)

実践記録シリーズ

15

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。



村高妙

山の村高妙 級学教育家庭

二年目から自主運営 先入観打破した両親学級

山駅を中心に集落が点在し、国道すべき状態の中で一昨年、家庭教師に頼まれた歴史的にも古い地域で、継続的に進める必要がある。観光開発の進展と産業構造、また県山小学校児童の両親学級の変容に伴ない両親の大部分は家庭外就労となり、子どもたちの教

先入観があった。そこでまず父母の意識調査・実態調査を実施した。確かに勤め人が多く、時間的に余裕のないのは事実であるが、子どもの教育については関心が高く、家庭教育について学習したい

にお礼を申し上げます。

(豊浦町公民館)

活動に生かしたい

綿貫 利一

職場も、家も、酒も……わすれて、朝早くから夜おそくまで、私たちが、頭の中へ詰め込めたい話、夜は後で情報交換と、ハイドスケジュールの毎日でありました。

この研修会を通じて多くの人の考えを聞くことができたことは、ほんとうにかかっていたと思っていま

す。この体験をあるからの活動に生かしたいものです。

(牧村公民館主事)



綿貫 利一

パイプの役割り

長嶋 哲治

まず朝夕のレクリエーション、ゲーム等での指導方法に接して、公民館活動がどのような雰囲気の中で行なわれなければならないか、を体験した。講座・学習・行事がすべてつながり、たいやわゆる「集める公民館」から一歩前進して「いつでも」「どこでも」「誰でも」が参加できる場としての公民館。小さなグループづくりからながく大きな活動に移って行くパイプの役割りをするための公民館。いろいろ学んだが、一歩地道な努力が必要と思う。

(佐和田町公民館)

高度な指導性

知野良志子

二、三週間、事務処理だけでも精一ぱいで、自己の方向を見出せず、少々あせりきみであった矢先のこと、期待感をもって出席しました。

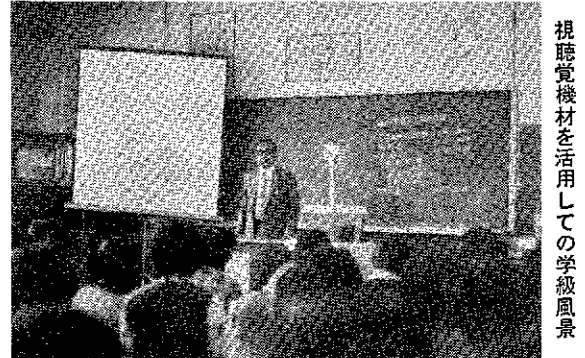
しかし、社会教育は、AプランBプランCのように簡単に自分の出ないものなどということがわかりました。

住民の誰もが自主的、自発的に学習してもらうためには、住民の要望に合わせた学習計画立案が大切だということ、つまり高度な指導性が必要だということがわかりました。

(白根市公民館)

という意欲のあることがうかがえる。調査結果を重視し、年間九回は(1)開設の趣旨、(2)学校の概要、(3)運営、(4)学習プログラムからなる運営委員会を会長・主事・PTA役員・学校職員等で組織し、試案に分け、学習計画に照らし、期日・検討・実施計画の作成・広報・学習・課題・ねらい・学習内容・習活動の実施、反省評価の繰返しで学習を展開した。懸念した出席も年間延八百余名、固定等級生四小教名を確保することができた。

第二次は計画・運営等すべてをPTAの主体性に任せ、学級生の責任と自治で実施することとし、年間十回、二十五時間の計画で学習を展開した。本年度は第三次学習を展開した。本年度は第三次学習を展開した。本年度は第三次学習を展開した。



視聴覚教材を活用しての学級風景

は家庭教育の意義と役割、新しい親子関係・意志の育成・生活の充実・創造性の育成・節約心の啓発・情操教育・読書指導・性教育などをとりあげ、本年度は更に具体的な課題を設定し学習することとしている。

それそれが断片的な学習に終わることのないよう発展と関連を重視して、四、学級の特徴

あなたを応援する

館報を復刊したい

人口二万人に及ぶ町の公民館で館報を復刊したいと思っております。しかし、すでに「町だより」もあり、その紙面の一部に公民館コーナーを設けておられることや、とくに館報発行の印刷費もないのですが、何か良い方法はないでしょうか。

(H町・A主事)

回答

情熱と勇気を

いまま、どこの市町村でも発行されている行政報の前身、担当者の理解もあって比較的よく公民館報だったところが多いです。わたしの町も、あなたの町と同様一時、行政広報に担当者と一しに吸収され、

そこで、もう一度原点に立ち返る気持ちで、月一回タイプ印刷の、チラシのようなお知らせ版を発行するところから出発しました。はじめは回覧板で回りましたが、効果は長くて、結局は、各分館長さんや各町田して地区の組長さんから各戸に配分してもらっています。い

また、もう一度原点に立ち返る気持ちで、月一回タイプ印刷の、チラシのようなお知らせ版を発行するところから出発しました。はじめは回覧板で回りましたが、効果は長くて、結局は、各分館長さんや各町田して地区の組長さんから各戸に配分してもらっています。い

質問募集

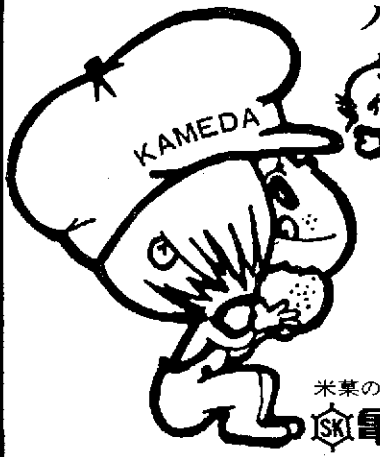
あなたの公民館でも「上巻の公民館」はこの問題どう処理してらるのだろうか。「と思われされる事例のひとつやふつは、はがきを結構ですからお聞かせください。適当な公民館を選んで回答を寄せていただきます。

(編集部)

全公連20年史・稿

- 内容・序章 公民館の創成と発展
- 第一章 全国公民館連絡協議会の創立・第二章 全国公民館大会
- 第三章 単行法と社会教育法の改正・第四章 国庫補助金の増額対策・第五章 優良公民館の表彰等
- 一部 八〇〇円 (送料別)
- 申込先 新潟県公民館事務局

バラエティに富んだ品ぞろえ



亀田製菓

亀田のあられ

おせんべい

米菓の総合メーカー

亀田製菓株式会社

本社・工場/新潟県亀田町元町1の3の5 TEL(0253)82-2111(代)
支店・営業所/東京・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台・静岡・長野・金沢・広島・鹿児島

あの頃のこと



猪股武雄

蛇の話 (下)

作家水上瀧が別冊文芸春秋に著された短編小説「輝の花」は、氏の数ある短編中最も感銘を受けて、時々読み返している一つである。

一男は梅月五月はじめにやってくる。どこから来るのかわからぬ。大きな蛇を一つもっている。大きな手ぶらで近かくの宿から散髪にでもきた装いでくるのだが、大樽の新井が親指の先々らゝの大ききになって、青蛇の羽のよきに透けて見える頃に、男はかならず屏物にやってくる。「

一蛇の宿へ大木の根には大蛇が住むという。私がこの山を退治は、氏の数ある短編中最も感銘を受けて、時々読み返している一つである。

一男は梅月五月はじめにやってくる。どこから来るのかわからぬ。大きな蛇を一つもっている。大きな手ぶらで近かくの宿から散髪にでもきた装いでくるのだが、大樽の新井が親指の先々らゝの大ききになって、青蛇の羽のよきに透けて見える頃に、男はかならず屏物にやってくる。「

蛇をいためたつけた憤りと思ひ臥文を草したが、折をきて禿蛇の話をものしたと思つている。笑談多謝。

(引用した俳句は「二」を除きすべてホトトギス雑誌選集より備用)

(白根市立白根図書館蔵)

次回予告
猪股氏の「蛇の話」から一転して、次回から三回にわたり、元見附市今町公民館主事として活躍した大島順平氏の「シベリヤ捕虜」を載せる予定です。もっとも、語りつづける必要がある原体験の記です。

筆 朴 の 花

岩村理貴

今年の春、東京の友人よりクラソウの便りが届いた。場所は福島県磐梯湖である。

十数年前母と一緒にごにんごにいた妹を訪ねて、しばらく泊ったなつかしい土産を出したので、折返し出向の葉書を出した。

五月末の朝、新築田の友澤十人、水原の三人と新潟給送の一行「いで」におさまった。

海岸の景色を眺めながら楽しく語り合った。午後三時過ぎには、磐梯湖の駅に着いた。

道をきながら指定の保養センターまで歩く歩いた。立派な鉄筋の旅館の大広間に着いた。そこへ東京館とあちこち遠いところから集まった人で一時強時雨の降に寝た。翌朝五時頃目を覚まし

蛇をいためたつけた憤りと思ひ臥文を草したが、折をきて禿蛇の話をものしたと思つている。笑談多謝。

(引用した俳句は「二」を除きすべてホトトギス雑誌選集より備用)

(白根市立白根図書館蔵)

短歌
立山行
佐久間昭吾
深うめし方雪の底ひゆく水のひびきがかすかに聞こゆ
雪溪の解くるきはより朗えいでて花華みちかかたくりの咲く
風のむた霧わきくれば宿屋根の藤の垂り花なびき行へり

越後路
伊藤 茶利
平明に刈田の続く越後路のまはらわたりし日はかたきけり
猿のつきして山のはさまのみのり田に嵐威し立ち人影見えず
尾瀬沼の水澄むあたり雲中虫をすはやく捕ら魚影を見つ
落日の光を映して小波は紅く染れり佐渡の入り瀬

(以上七首、新潟市公民館発行「文芸」はた、より抜す)

越前武生の在に樹合五百年もあるつという大きな木の根があった。村の人は、せんまい取りの季節に咲くので、せんまい根といっていた。ある年のこの大根の花が咲かなくなった。お守りをしていて酒造さんが、枯れたようなので根に無数の山蛭がいるのを見つけた。村々で驚き取りの男に相談した。

今年、春、東京の友人よりクラソウの便りが届いた。場所は福島県磐梯湖である。

十数年前母と一緒にごにんごにいた妹を訪ねて、しばらく泊ったなつかしい土産を出したので、折返し出向の葉書を出した。

五月末の朝、新築田の友澤十人、水原の三人と新潟給送の一行「いで」におさまった。

海岸の景色を眺めながら楽しく語り合った。午後三時過ぎには、磐梯湖の駅に着いた。

道をきながら指定の保養センターまで歩く歩いた。立派な鉄筋の旅館の大広間に着いた。そこへ東京館とあちこち遠いところから集まった人で一時強時雨の降に寝た。翌朝五時頃目を覚まし

蛇をいためたつけた憤りと思ひ臥文を草したが、折をきて禿蛇の話をものしたと思つている。笑談多謝。

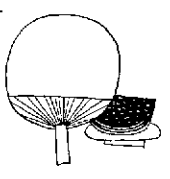
(引用した俳句は「二」を除きすべてホトトギス雑誌選集より備用)

(白根市立白根図書館蔵)

短歌
立山行
佐久間昭吾
深うめし方雪の底ひゆく水のひびきがかすかに聞こゆ
雪溪の解くるきはより朗えいでて花華みちかかたくりの咲く
風のむた霧わきくれば宿屋根の藤の垂り花なびき行へり

越後路
伊藤 茶利
平明に刈田の続く越後路のまはらわたりし日はかたきけり
猿のつきして山のはさまのみのり田に嵐威し立ち人影見えず
尾瀬沼の水澄むあたり雲中虫をすはやく捕ら魚影を見つ
落日の光を映して小波は紅く染れり佐渡の入り瀬

(以上七首、新潟市公民館発行「文芸」はた、より抜す)



公民館の諸案件は、ひとことえいへんは、格段に良くなっているようですが、県公連は、うんと、金ぐれがらうりすきなのでしょうか。(木)